

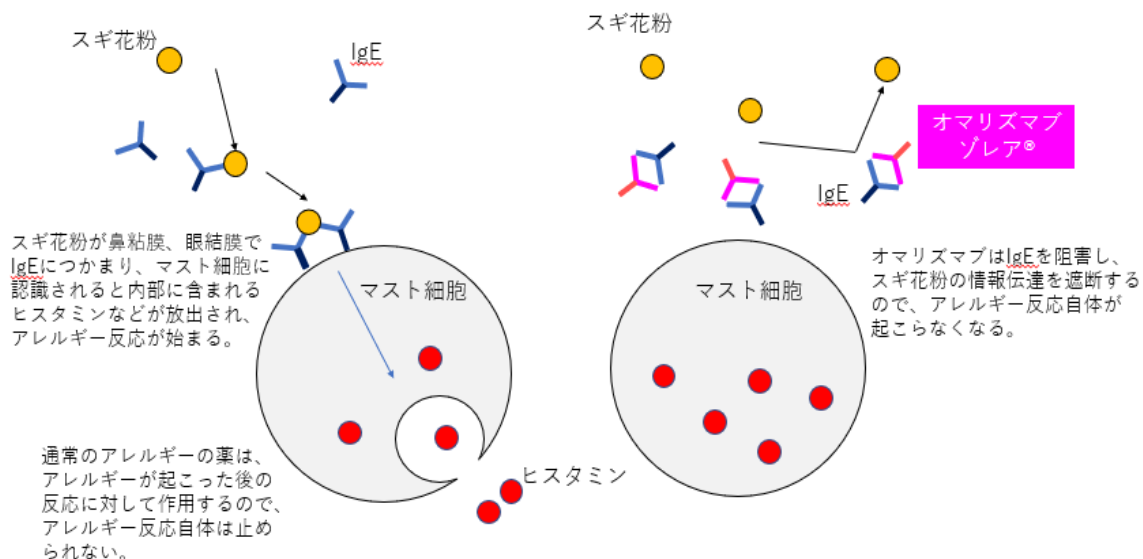
重症スギ花粉症に対するゾレア®の治療について

ゾレア®（オマリズマブ）は、2009年から重症喘息の治療に使われてきた、強力な薬です。重症花粉症に対しては2020年スギ花粉飛散期より使用が可能となりましたので、当院でも治療を行いました。その経験を活かし、2021年スギ花粉飛散期もゾレア®による治療を行います。

但し、従来のスギ花粉症に対する医療に比べて著しく高価なゾレア®の使用には厳格な基準があり、医療者側にはガイドラインを遵守した上で適切な患者さんへの指導が求められます。また、治療を受ける患者さん側も大きな公費が投入されることを認識し、医療者側の指導をしっかりと守る義務が生じます。

① ゾレア®の作用機序

ゾレア®は抗ヒトIgEモノクローナル抗体といって、スギ花粉の情報を認識するIgEというたんぱく質に結合してその働きを無力化する薬剤です。



アレルギー反応自体を起こさせなくするので、起こってしまったアレルギーに対して使用される従来の薬剤より格段に効果があります。ただし、この効果はゾレア®の投与期間のみしか持続しないため、免疫療法と違って継続的な症状の改善はありません。

② ズレア®の適応

適応疾患 スギ花粉症

年齢 12歳以上

重症度 スギ花粉症に対する薬物療法を十分に行った上でも症状が重症以上である
(このため、薬物療法を併用することが条件です)

③ ズレア®の投与方法、費用、投与スケジュール

ズレア®は皮下注射による投与ですので、当院にて皮下注射を行います。

体重と採血による血清総IgE濃度により投与量と投与間隔が決定します。体重が重い人、血清総IgE濃度が高いほど、投与量・投与回数が多くなります。

ただし、体重が重く、総IgE濃度が極端な高値になると適応外になります。(例えば体重45kgであれば総IgE濃度1,500IU/ml以下まで適応になりますが、体重60kgだと総IgE濃度1,000IU/ml以下までが適応になります。)

下記は投与量、薬価負担金額の目安を略式に示したものです。実際に投与する場合はより細かく投与量が規定されています。

【ズレア®の投与量、薬価の目安】

	1回投与量	150mg	300mg	600mg
	1回薬剤費	29,147円	58,294円	116,588円
	薬価負担額 (3割の場合)	8,744円	17,488円	34,976円
月1回投与	目安の体重	20~40kg	40~70kg	70~120kg
	目安の総IgE濃度	100~300	100~600	200~500
月2回投与	目安の体重	なし	20~50kg	50~90kg
	目安の総IgE濃度		600~1,500	400~1,000

- ・12歳~15歳は子ども医療費助成制度が使用できます。
- ・印西市の16歳~18歳は高校生等医療費助成制度が使用できます。

【ゾレア®の投与スケジュール】

初回	12月下旬～1月中旬	血液検査（総IgE測定）
2回目	1月上旬～1月下旬	投与量決定、薬物療法開始
3回目	1月中旬～2月上旬	初回投与
4回目	初回投与2又は4週間後	2回目投与（希望時のみ）

●初回

ゾレア®の用量を決めるための総 IgE 値の測定を行います。

●2回目（3-7日後）

体重と総 IgE から、適応があるかどうかを判断します。この時点で、検査結果によっては投薬ができないことがあります。

適応があれば投与量と間隔を決定します。この時、抗ヒスタミン薬、鼻噴霧用ステロイド剤、抗ロイコトリエン薬の投与を行います。（この投薬が無効である、という事が適応条件なので、投薬は必須です）

●3回目（約2週間後）

初回の皮下注射による投与を行います。

花粉飛散期に1回～3回の接種を推奨します。

●4回目以降（2週間おき）

以降、花粉飛散期に投薬を継続する場合、2週間おきに受診します。